

令和7年第23回教育委員会定例会

開会年月日 令和7年12月8日(月)
場 所 教育委員会室

出席者 教育委員会 教育長 三浦康彰
同 委員 小林三保
同 委員 仲山英之
同 委員 岡田行雄
同 委員 森山瑞江

議 題

1 議案

(1) 議案第44号 令和7年度練馬区教育委員会の点検・評価に関する有識者について

2 陳情

(1) 令和6年陳情第4号 教科書採択傍聴会場に関する陳情〔継続審議〕

3 協議

(1) 旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について〔継続審議〕

(2) 令和7年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価について〔継続審議〕

4 報告

(1) 教育長報告

① 令和7年第四回練馬区議会定例会提出議案について

② 令和7年度スキー移動教室の実施について

③ その他

開 会 午前 10時00分

閉 会 午前 10時48分

会議に出席した者の職・氏名

教育振興部長	佐川 広
教育振興部教育総務課長	杉山 賢司
同 教育施策課長	竹岡 博幸
同 学務課長	竹内 康雄
同 学校施設課長	柴宮 深
同 保健給食課長	渡辺 雅昭

同	教育指導課長	佐藤	永樹
同	副参事	佐藤	勝也
同	学校教育支援センター所長	村瀬	美紀
同	光が丘図書館長	小原	敦子
こども家庭部長		関口	和幸
こども家庭部子育て支援課長		脇	太郎
同	こども施策企画課長	河野	一真
同	保育課長	岡村	大輔
同	保育計画調整課長	山口	裕介
同	青少年課長	横山	亜規子
同	子ども家庭支援センター所長	橋本	健太
同	在宅育児支援担当課長	小島	芳一

教育長

ただいまから令和7年第23回教育委員会定例会を開催する。
案件表に沿って進める。本日の案件は議案1件、陳情1件、協議2件、教育長報告
2件である。

1 議案

(1) 議案第44号 令和7年度練馬区教育委員会の点検・評価に関する有識者について

教育長

初めに議案である。
議案第44号、令和7年度練馬区教育委員会の点検・評価に関する有識者について。
この議案について説明をお願いします。

教育総務課長

資料に基づき説明

教育長

それでは、委員の皆様のご意見、ご質問があればお願いします。
よろしいか。
それでは、ここでまとめたいと思う。議案第44号については決定でよろしいか。

委員一同

はい。

教育長

では、議案第44号については決定とする。

2 陳情

(1) 令和6年陳情第4号 教科書採択傍聴会場に関する陳情〔継続審議〕

教育長

次に、陳情案件である。
継続審議中の陳情1件については、事務局から新たに報告される事項や大きな状
況の変化はないと聞いている。
したがって、本日のところは継続としたいと思うが、よろしいか。

委員一同

はい。

教育長

では、そのようにさせていただきます。

3 協議

- (1) 旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について〔継続審議〕
- (2) 令和7年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価について〔継続審議〕

教育長

次に、協議案件である。

協議の(2) 令和7年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価について。

本日は、各委員から頂いた評価と特記事項に基づいて教育委員会としての評価(案)として取りまとめた資料が事務局から提出されている。

この評価(案)に対して各委員からご意見を頂き、教育委員会としての評価を決定したい。

それでは、資料の説明をお願いします。

教育総務課長

資料に基づき説明

教育長

資料に基づき、教育委員会としての評価(案)について説明があった。

本日は、重点施策等について事務局から示された評価(案)に対する各委員のご意見を伺った上で、教育委員会としての評価、また特記事項を決定したいと思っている。

この後のスケジュールなのだが、先ほど議案で決定をした有識者3名の方に1月中にご意見、ご助言を頂く予定としている。本日、こちらを決定いただければ、有識者への委嘱とともに、すぐにでもこの報告書をお渡ししたいと思っているので、よろしくをお願いします。

また、本日の審議の進め方についてだが、まず、評価が分かれていた施策について皆さんからご意見を伺い、評価を決定していただく。次に、委員の皆さんから頂いた評価が比較的まとまっていた施策について、事務局案でよいかどうかを決定していただき、最終的な評価としたいと思っている。

それでは、審議に入る。

まず、評価が分かれていた施策についてである。

資料2-1の3ページの教育分野の重点施策1-③と2-①、9ページの子育て分野の重点施策の2-②、10ページの3-①、11ページの3-③がそれぞれ該当する。

先ほど説明があったが、委員の評価が分かれているので、総合評価については暫定的に評価欄に米印をつけているということである。

これらの施策について委員の皆さんから個別にご意見を頂き、教育委員会として

の総合評価を決めたいと思っている。

では、まず3ページをお願いします。3ページの1―③である。学校の教育環境の整備について各委員のご意見、ご質問を頂ければと思っている。いかがだろうか。

なお、昨年度はこの部分については総合評価2であった。

仲山委員

私は毎回、2と3の区別というのは非常に迷っているのだが、実は今回は2にした。特記事項の上から2つ目の丸は私が書いた部分である。全体的には非常に評価できるのだが、先般、春日小学校を視察に行ったときに非常によい校庭があり、まさに豊かな心を育むのにふさわしい、こういったものがほかの学校にもあるといいという意味で、要望ということで、豊かな心を育むことにつながる空間の整備を加えてもらいたいということを書いた。

しかし、これはさらに先の話として考えたほうがいいのかと思うので、そこを除いて考えると、3でもよかったかと思っている。

森山委員

私は2にした。私が書いたところは、地域や家族等にいろいろとご意見があったようなので、十分に説明を尽くして、安心して進められるようにしていただきたいということと、最も下の特別支援学級の移設においては、「場へのこだわりなどといったことが非常に強い人たちがいる。そのため、時間をかけて負担を軽減する方策を考えていただきたい」とした。

このような点に気をつけていただきたいということで、仲山委員と同じように、今後お願いしたいということなので、3でもよろしいかと思う。

小林委員

私は3にした。子供たちが毎日生活する環境なので、やはり安全面を最も重視してほしいということもあり、学校の環境の整備というのは私の中ではかなり重要なものだと思い、いろいろ施策を進めていただいて、きれいにすることだけではなく、それが子供たちの安全面や精神的な安定につながるのではないかという気持ちも含めて3にさせていただきました。

岡田委員

私は3でお願いしたいと思う。教育環境の整備というのは目立たないけれども、必ずやらなければいけない大変重要な仕事だと思っている。特に学級の規模が変わっていったり、統廃合の問題だったり、今回は非常に大変な時期を迎えて、その中で大きな混乱もなく、子供たちが生活できているという意味で大変なご苦労があったと思う。したがって、そのことに対する評価と今後もよろしくお願いしたいという意味を込めて3にした。

教育長

そうすると3ということになるが、よろしいか。

委員一同

はい。

教育長

では、3と決定させていただく。

その次、同じく3ページであるが、2-①家庭教育への支援についてである。こちらについて各委員の皆様のご意見などがあれば願います。

仲山委員

私は3にしたのだが、改めて今回、この特記事項を読ませてもらうと、特記事項の最後で委員が書かれたところに、子供がいまだに孤立している状況もあるようである。まだこのような大きな課題が残っているというならば、2のほうが良いと思っている。

岡田委員

私は2をつけさせていただいた。概要の中で様々な情報を家庭に提供する多様な家庭教育支援を行うということなのだけれども、この方向に沿ってぜひやっていただければありがたいと思うが、加えて、もう1つ、情報連携もそうなのだが、行動連携という観点からもぜひお願いをしたいと思い、そのような意味で2をつけた。

森山委員

私は2をつけた。やはり、家族支援というのが非常に大切だと思うので、それは学校や地域、家族と一緒に本人を見守る、また新しい道を見つけるといったところが非常に大事だと思うので、これからはいろいろな施策、または家族の理解が進んでいくように、そういった活動をしてもらいたいと思って2にした。

小林委員

施策の内容や今まで取り組んできていただいた内容は、いろいろな方々に寄り添った施策がされていて、非常にいい内容だと思ったけれども、やはり、先ほど委員もおっしゃったように、まだまだ問題を抱えているご家族、子供たちがいる。その子供たちへのケアも今後より一層やっていただきたいという意味も込めて、期待を込めて、2ではないかと思った。

教育長

それでは、ここの2-①については、委員の皆様からのご意見を頂いたけれども、3と2で分かれているが、総合評価は2ということによろしいか。

委員一同

はい。

教育長

次に、9ページをお願いする。9ページの2-②である。練馬こども園の充実について。これも3と2で分かれているけれども、委員の皆様のご意見があればお願いしたい。なお、昨年の評価については3となっている。いかがだろうか。

仲山委員

私は3をつけたのだが、特記事項は2つ目の丸である。最後のところで、職員の待遇の向上に努めてほしいということを書いた。それは、やはり職員の待遇がまだ十分ではないと思っているし、恐らく多くの方はそう思っていると思う。そのため、自分でそう書いておきながら3にしたのは少し矛盾するなと思い、ここで2に訂正したいと思う。

森山委員

私は2にした。職員の待遇向上も大事であり、こども園の拡大は評価できるが、子供たちは非常に多感な時期だと思われるので、やはり、単に預かりではなく、職員の資質向上になお一層努めていただきたいと思い、2にした。

小林委員

私は3にした。こども園が本当に年々拡充されていき、その内容も多岐にわたり、本当に保護者側の選択肢があるということが高く評価できると思い、3にした。

ただ、今、委員のコメントを読んでいると、保護者側の意見だけで3にしたのだが、やはり、働く方々のことや、もちろん預ける側のニーズにも寄り添って、よりよい環境づくりを目指すという意味では2でもいいのではないかと思った。

岡田委員

ほかの委員の方の意見を聞いていると、少々私の思いと逆になってきてしまったけれども、私は2をつけたのだが、3にしたいと思っている。それは、ここにも書いたのだが、保護者の就労形態やニーズが非常に多様化していて、こども園の在り方にもまた様々に求められている中で、非常に難しい課題なのだが、それに対して非常によくやっていただいているというのはやはりある。

私も研修などいろいろなことで2がふさわしいのかと思ったけれども、やはりその気持ちが捨てられず、3がいいかと思った。

教育長

3だと非常に良好という評価になるため、ほかの委員の皆様からはまだ課題はあるというお話も頂いたので、2ということでもよろしいか。

委員一同

はい。

教育長

続いて、その次のページである。重点施策の3-①安全で充実した放課後の居場所づくりについて。ここも3と2で分かれている。委員の皆様のご意見、ご質問があればお願いします。

仲山委員

私は3にしたのだが、上から2つ目の丸のところが私のコメントだが、ねりっこクラブがもう少しで全校実施のところまで来ているというので、極めて3に近い程度で、よくやっておられると思うのだけれども、まだ少し行き届いていないということを見ると、これは現時点では2のほうがよかったのではないかと思うので、2に修正する。

小林委員

私もほぼ同じ理由で3にした。ねりっこクラブがほぼ全校で、毎年着実に増やしていているというところが非常に高く評価した点ではある。けれども、委員たちのコメントの朝の居場所づくり、これは保護者でお仕事をされる方が増えている現状で本当に課題であるし、いろいろな問題だったり、保護者からの要求だったりというのはさらに出てくるのではないか、これから本当に勝負ではないかと思うので、今後を期待して、より一層の取組をとという意味で2ではないかと思った。

岡田委員

私は2をつけさせていただいたのであるが、朝の子供の居場所の調査を行うということで、その結果を踏まえて早期に対応していただきたいと思う。それが正しいかどうかというのは全く別問題なのだが、朝食を出すなどしている自治体もある中で、やはり、このような問題が全国的に広がっているのではないかとは思う。

私も地元の小学校に朝早く行くと、子供たちが正門の前で何かを待っている姿を見かける。特に問題がなければいいのだが、何かあったときに大変困るので、この調査を早急にやっていただいて、どうしたらいいかという検討をできるだけ早くしていただきたいと思うので、今のところは2をつけさせていただいた。

教育長

それでは、3の評価をつけられた委員の方もいらっしゃるけれども、今後に期待してということで2というお話もいただいた。そのようなことで総合評価の重点施策3-①については2にさせていただいてよろしいか。

委員一同

はい。

教育長

続いて、11ページの重点施策3-③青少年の健全育成・若者の自立支援についてである。ここも3と2で分かれているが、委員の皆様のご意見などがあればお願いしたいのだが、いかがだろうか。

仲山委員

私は2とした。下のほうの丸2つが私の意見なのだが、ここは特に重要なところで、なかなか問題が解決できていないというところである。非常に一生懸命やられていることは分かるのだが、素晴らしい結果というところまでは行っていないため、2をつけさせてもらった。

岡田委員

私は3をつけさせていただいたのだが、事業の成果の中で、4、5、6年度と年度が重なるにつれて、参加人数も一時は非常に増えたりしており、かなり多くの参加者がいる。また、これからの考え方として、子供たちが企画段階から携わる事業にという明確な方向性が示されている。私は、このような子供が企画段階から参加するというところに大いに賛成である。そのような発想ができること自体が既に素晴らしい基礎があるとも思うので、大変よくやっていただいていると思い、3をつけさせていただいた。

小林委員

私は3をつけさせていただいた。ジュニアリーダー、青年リーダーの活動においてというコメントを入れさせていただいていたのだが、実際にジュニアリーダー、青年リーダーに所属している若者たちは本当に素晴らしいというか、自ら入るということを決断するだけでも勇気が必要だったと思う。

各小学校で毎年1人か2人が手を挙げるかどうかぐらいの割合だと思うのだが、そこに入って、ジュニアリーダーから青年リーダーまで活動していただき、地域のかお祭り事などにはヘルプで来てくれるなど、非常に素晴らしい活動だと思う。

ただ、少し認知度が低いということも含めて、今後はこのような活動をしている人たちがいるというのをさらに広めていただいて、より興味を持っていただけるようにしていただきたいという意味も含めているが、その辺りが素晴らしいと思ったので3にした。

若者の自立支援というところにおいては、本当にまだまだ難しいかと思う。今後一層、集団行動から少し遠ざかってしまったり、進路に悩んだりというところで若者の自立支援というのは、当然、練馬区だけではなく日本全体でも課題だと思うので、非常に難しい。

もし、この施策が青少年の健全育成は大変よくできているということであれば3だと思うけれども、若者の自立支援というのを加えると、まだ3ではないのではないかと、2にしようかとも思った。

教育長

確かに取組としてはいろいろやっているというところは評価をいただいているけれども、そうすると、自立支援で全てうまくいっているかという、なかなかそうも言えないというのが一方ではあると思う。

仲山委員

単なるコメントだが、やはり難しい分野なので、全員から非常によくできているという意見はなかなか出づらいつころだと思う。いつまでやっても多くの人がよくやってくれたと思うのはなかなか難しいと思うので、そのような意味ではこの採点は、ほかのところよりは少しやっていることに重点を置いて評価をしてもいいのではないかという気もするけれども、やはり結果が出る必要はあると思う。

教育長

着実に進めていくという部分で、急に効果が出るというものではない。そうすると、仲山委員がおっしゃるように、非常に良好だという評価はなかなか難しい分野なのではないかという気はする。

岡田委員

私も全ての状況を知っているわけではないのだが、私が関わらせていただいているところでは、子供たちがやはり地域の中で核となって動いているということも、また事実である。

一方で、課題も幾つかあるということも承知しているのだが、長年、このような活動を地域の方と子供たちが一緒になってやっていくというのは本当に大変なことだと思う。特にこれから地域の方がこういったものに関わりにくくなっている中で、自分の生活などいろいろな犠牲にしながら、子供たちの育成に関わるという気持ちというのは非常に大事だと思う。

これをこのまま放置していると、急速に衰退する一方だと思うが、そのような中で現状維持だけでも大変だと思うけれども、それを積極的にやっつけようというのには非常にありがたい取組だと思う。したがって、何を目標にするかというのは非常に難しいところであるけれども、そのような取組に対して私は高く評価したいとは思っている。

教育長

取組について評価をいただいたということである。目標をどこに置くかといったお話もいただいた。そのような意味では、やっていることは評価をいただいているけれども、結果との関係でどうなったというのでなかなか、委員の皆様も評価に頭を悩ませている部分はあると思っている。

我々もこれで点検・評価をいただくことが、ベストだとは当然思っはならず、その辺りのやり方も逐次検討していかなければいけないという問題意識は持っている。ただ、今回の評価をつけないといけないので、岡田委員からは高い評価を頂いたけ

れども、ここの部分についてはほかの委員のご意見なども聞かせていただいた上で、2という評価でよろしいか。

岡田委員

はい。

教育長

では、重点施策3-③については2とさせていただきたいと思う。

それでは次に、評価が比較的まとまっていた施策についてなのだけれども、資料2-1の各ページに総合評価欄に事務局として委員の皆様から頂いた数字での評価を既に記載をしている。それぞれ、この評価でよろしいか。

委員一同

はい。

教育長

それでは、以上をもって、全ての重点施策について教育委員会としての総合評価として決定したいと思う。

今後、この総合評価と特記事項を点検・評価表に記載し、報告書として決定をする。この報告書については、後日、事務局で修正が完了次第、委員の皆様、それから有識者の皆さんに送付をさせていただきたいと思う。

なお、有識者の方のご意見、ご助言を反映させた報告書については改めて教育委員会に議案として提出をさせていただく予定である。

それでは、この協議案件について本日は継続としたいと思うがよろしいか。

委員一同

はい。

教育長

それでは、そのようにさせていただく。

その他の継続審議中の協議案件1件については継続とし、次回以降に協議を行いたいと思うがよろしいか。

委員一同

はい。

教育長

それでは、そのようにさせていただく。

4 報告

(1) 教育長報告

① 令和7年第四回練馬区議会定例会提出議案について

教育長

次に、教育長報告である。本日は2件ご報告する。
報告の①番について説明をお願いします。

教育総務課長

資料に基づき説明

教育長

委員の皆様からご意見、ご質問があれば頂くが、いかがか。
よろしいか。それではこの案件は終了とさせていただきます。

② 令和7年度スキー移動教室の実施について

教育長

では、報告の②番について説明をお願いします。

保健給食課長

資料に基づき説明

教育長

委員の皆さんからご意見、ご質問があればお願いします。
よろしいか。それではこの案件は終了とさせていただきます。
委員の皆様からその他で何かあるだろうか。よろしいか。
事務局からその他の報告はあるか。

事務局

現在のところ、ほかにはない。

教育長

最後になるけれども、今月の12月18日付で教育委員の任期が満了となる岡田委員からご挨拶をいただきたいと思う。
岡田委員、よろしくをお願いします。

岡田委員

では、ご挨拶をさせていただきます。
おかげさまで教育委員としての職務を何とかやらせていただいたというのが今の

実感である。思えば4年前、新型コロナウイルス感染症の対応で皆様方が非常に力を込めてやっていたのが非常に印象に残っている。

また、ずっとこの会議に出させていただいて特に印象に残っているのが、今日もあつたけれども、不登校問題など解決が難しい課題が常に存在し続けている中で、教育に対する新しい期待や見方、また価値観が多様化してきており、そのような中で教育委員会の仕事というのがより一層厳しさを増してきているというのが実感であった。

このような状況の中で、皆様方のお仕事は私の周りでは成果となって表れているというのも一区民として実感していた。そのような意味で皆様方のお仕事は、私にとって非常に頑張っていらっしゃるといった気持ちにさせていただいた。

これからも皆様方のお仕事は成果をもって、区民の方が満足されるように、ご活躍をお祈りしているし、また、今まで子供たちのためにいろいろとご尽力されてきたことに対して心から敬意と感謝を申し上げて、退任のご挨拶にさせていただく。

教育長

岡田委員、どうもありがとう。

以上で第23回教育委員会定例会を終了する。